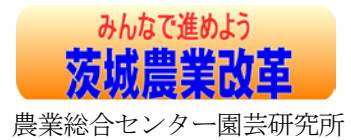


「平成27年度普及に移す成果」

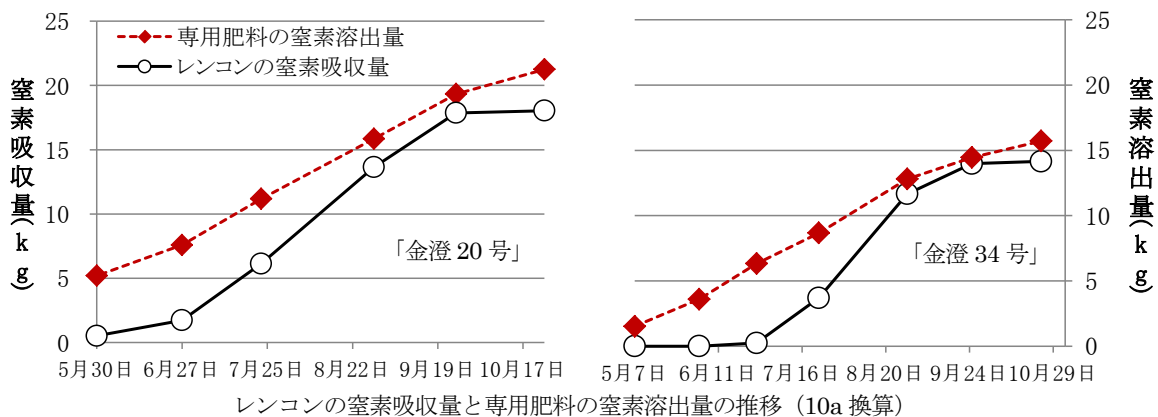


レンコン「金澄20号」、「金澄34号」の収量及び養分吸収特性に応じた効率的施肥法

県内で栽培されているレンコンの主要品種「金澄20号」、「金澄34号」は、2～3年間圃場ごとの収量により施肥量を決定し、養分吸収特性に合わせたレンコン専用肥料を施用することで、収量及び外観品質を維持しながら窒素及びリン酸の施肥量を削減することができます。

レンコンの養分吸収特性

レンコンの養分吸収特性に基づき、肥料メーカーと協力のもと、専用肥料を開発しました。この肥料の窒素溶出は、「金澄20号」、「金澄34号」それぞれの窒素吸収特性にほぼ合致し、溶出量は生育期間のいずれの時期においてもレンコンの窒素吸収量を上回りました。

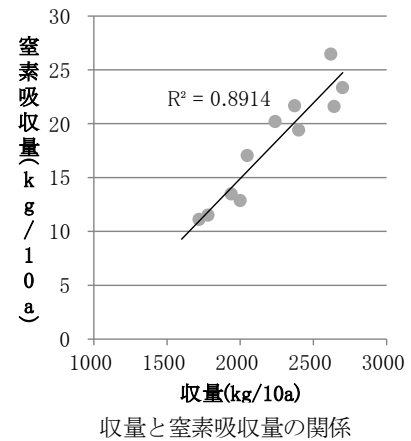


収量に応じた効率的な施肥

生産部会を調査した結果、圃場ごとの収量と窒素吸収量は高い相関関係にあることが明らかになりました。専用肥料の窒素溶出率及び関係式の誤差を考慮することで、レンコンの収量から圃場ごとの窒素施肥量を以下の式により求めることができます。

$$\text{【圃場ごとの窒素施肥量(kg/10a)} \\ = 0.015 \times \text{圃場ごとの収量(kg/10a)} - 12 \text{】}$$

この式に基づいて施肥量を決定し、レンコン専用肥料を用いる施肥法(実証区)により、慣行施肥法(慣行区)と同等の収量・外観品質を保ちながら施肥量を削減できます。



レンコン専用肥料を用いた施肥法が収量に与える影響

試験区	施肥設計 (窒素:リン酸:カリ kg/10a)	規格別収量(kg/10a)				合計収量 (kg/10a)
		M	Ⓜ	S	その他	
実証区	24:13:32	1820	154	102	162	2238
慣行区	30:21:36	1706	145	140	180	2170

活用上の留意点

- 1) リン酸・カリも窒素と同様の吸収パターンであり、上記の施肥法により効率的な施肥が可能です。
- 2) 専用肥料の成分は窒素：リン酸：カリ＝15：8：20です。(本年11月頃に太平物産(株)より発売予定)
- 3) 施肥にあたっては、土壌診断に基づいて土壌改良を行うとともに、増肥しても必ずしも増収にはつながらないことに留意してください。

<問い合わせ先：園芸研究所土壌肥料研究室 Tel 0299(48)3184>